

自転車通行環境の整備事業を拡充していきます！

1. 課題

- 自転車は、環境に優しく、健康に良い乗り物であり、市内の重要な交通手段である。
⇒通勤・通学での自転車の利用率は約24%（政令指定都市で3番目に高い）
- 自転車関連事故の全交通事故全体に占める割合が高く、自転車関連事故の削減が課題
⇒堺市では、約3割（全国平均は約2割）

2. これまでの取り組み

自転車を利用しやすいまちを実現するため、「つかう」「まもる」「とめる」「はしる」を柱とした堺市自転車利用環境計画（平成25年6月策定）

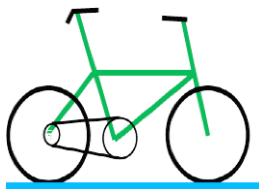
これまでの自転車通行空間の整備実績は、約22.4km（平成26年4月1日現在）

歩行者、自転車、自動車を分離した整備方法

整備方法	①自転車道	②自転車レーン	③歩道の視覚分離
			
H25年度整備延長	0.69km	2.89km	0.82km
全整備延長	1.75km	3.63km	17.01km

3. 今後の事業展開

安全に通行できる自転車通行環境を形成
・自転車の通行空間を確保した自転車ネットワークを形成



自転車道や自転車レーンを重点的に推進
今後5年間(平成25~29年度)で約20 km整備予定
平成27年度は約6km整備予定